TOYODENKI

PCツールマニュアル

TOYODENKI
東洋電機製造株式会社

６４シリーズ
トレンドモニター
取り扱い説明書

東洋電機製造株式会社

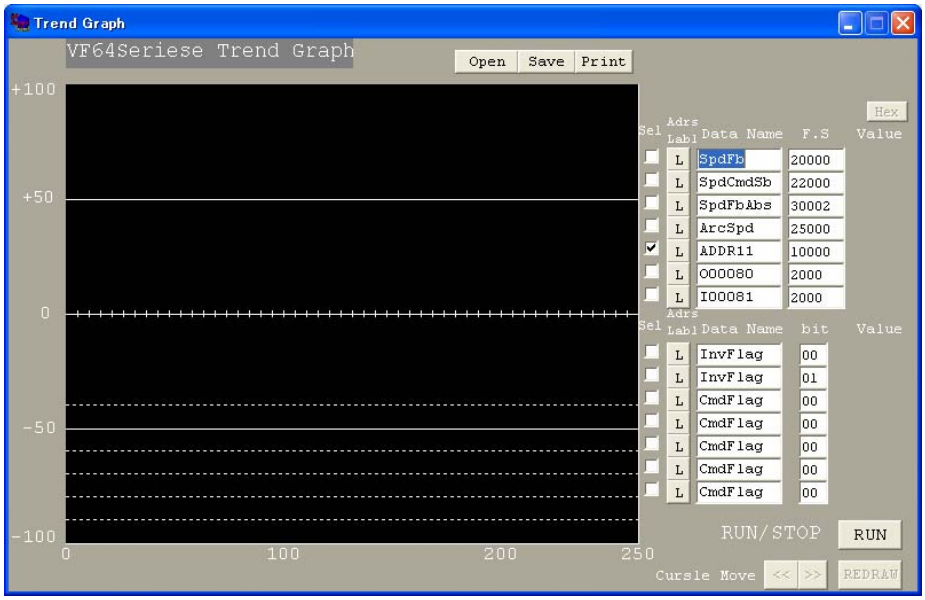
目次

１．概要　3
２．起動画面　3
３．メインメニュー　3
４．画面　3
５．表示変数の設定　4
６．トレンドの開始　5
７．再描画　6
８．データをファイルに保存　6
９．ファイルを開いて表示　6
１０．印刷　6
１１．通信設定　6
１２．終了　6

１．概要

トレンド機能は、パソコンによりＶＦ６４の電流や電圧などの内部変数の瞬時データをリアルタイムにグラフ表示するものである。また、そのデータを保存し、また再度読み込み表示したり、印刷したりすることができます。

２．起動画面



３．メインメニュー

ツールバー	メニュー	機能
File（F）	Exit（X）	ＶＦ６４トレンドソフトを終了します。
Display（D）	VarList（V）	表示できる変数、データのリストです。
System（S）	CommPort（C）	通信ポートを設定します
Help（H）	About（A）	バージョン情報等を表示します。

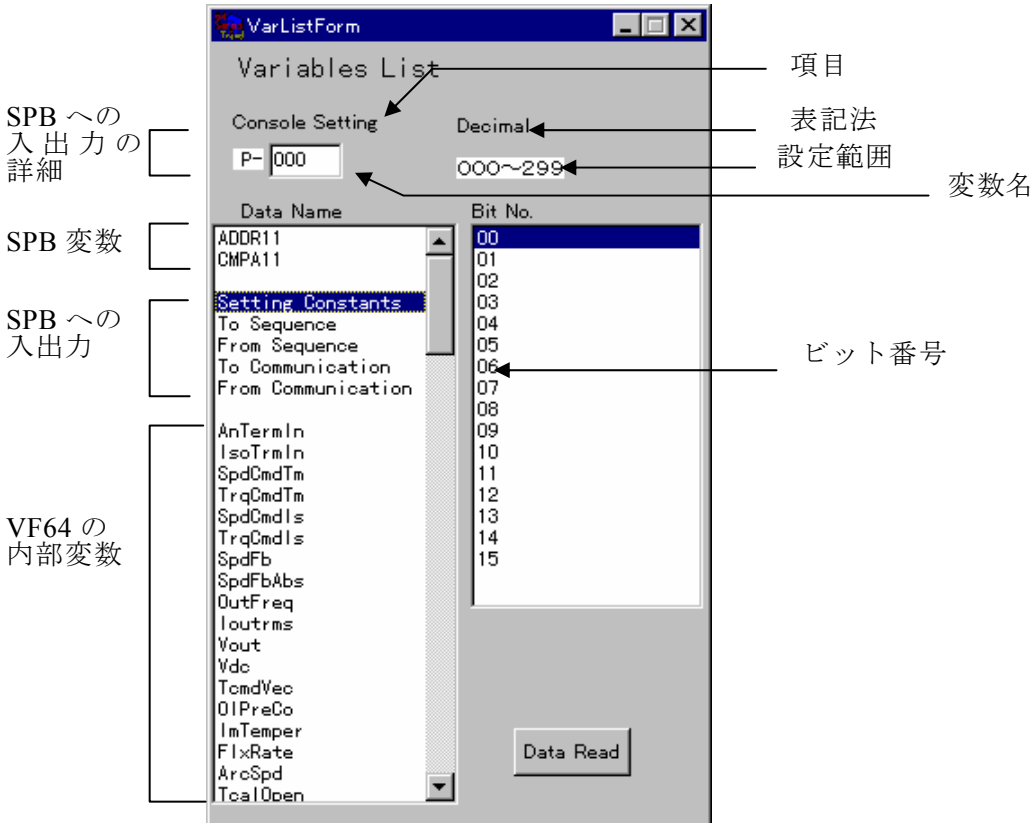
４．画面

画面	機能
TrendForm	メインメニュー
TrendDspForm	VF64Seriese　Trend　Graph　グラフ画面 表示する変数やスケーリングを設定し、リアルタイムデータを表示する画面です。
VarListForm	変数参照。　表示できる変数のリストです。この表から変数名を選択します。
Comm Set	通信ﾎﾟｰﾄを指定します。
Version	バージョン情報等を表示します。

５．表示変数の設定

１）変数リストの表示（Variables　List）

メインメニュー［Display］ープルダウンメニュー［VarList］にて、変数参照画面が表示されます。



上画面が表示された直後は、SPB 変数は表示されてません。

VF64 が接続されている状態で、ボタン“Data　Read”をクリックすると、VF64 から変数名が読み込まれ、SPB 変数も上図のように表示されます。

２）変数データ

本画面で選択されている（カーソル位置の）データがグラフ画面の“Data　Name”に入力されます。

変数データには次のものがリストされています。

（１）SPB 変数

SPB 機能の SPB の出力です。

（２）SPB 機能への入出力

(a)　設定定数（Setting　Constants）

SPB の制御定数を設定するコンソール番号を指定します。

変数名は、“Ｐ－ｘｘｘ”で表されます。

左側の表の“Setting　Constants”をクリックすると、表上部に入力部が表示されます。

“ｘｘｘ”を指定してください。

(b)シーケンスへ、シーケンスより（ToSequence、FromSequence）

シーケンス機能への入出力信号を指定します。

変数名は、シーケンスへの変数は“Ｉ００ｘｘｘ、

シーケンスからの変数は“Ｏ００ｘｘｘ”で表されます。

左側の表の“ToSequence”、“FromSequence”をクリックすると、表上部に入力部“Ｉ００”または、“Ｏ００”が表示されます。その右側の欄にｘｘｘを入力します。

(c)　通信へ、通信より（To　Communication、From　Communication）

通信オプションへの入出力信号を指定します。

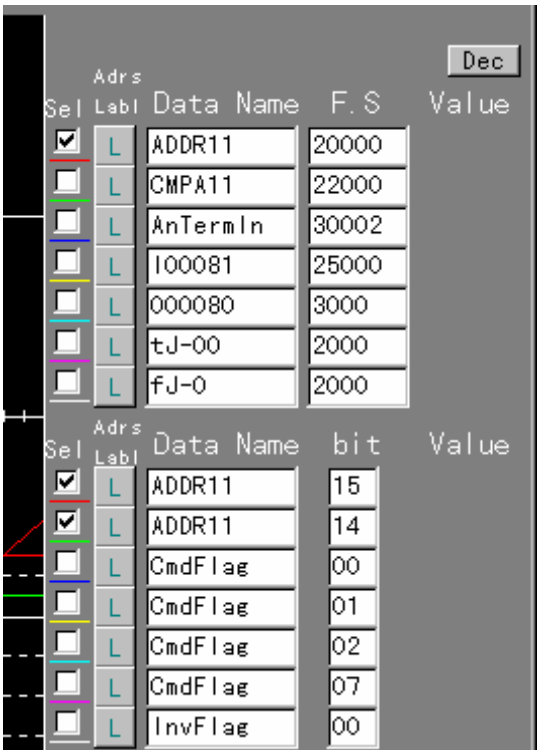
変数名は、通信オプションへの変数は“ｔＪ－ｘｘ、

通信オプションシからの変数は“ｆＪ－ｘで表されます。”

左側の表の“To　Communication”、“From　Communication”をクリックすると、表上部に入力部“ｔＪー”または、“ｆＪー”が表示されます。その右側の欄にｘｘ、またはｘを入力します。

３）表示データの設定

グラフ画面右部の欄により表示データの設定を行います。



（１）“Data　Name”

この欄をダブルクリックすると、その時点で変数参照上のカーソルが示す変数が、ダブルクリックした欄に設定されます。

ビット部の設定では、変数名とビット番号が組で設定されます。

（２）“F. S”

グラフのフルスケール値を入力します。

（３）“Adrs　Label”

通常は“L”が表示された状態で使用します。

表示したい変数のアドレスが判明している場合には、“Data　Name”はアドレスでも指定できます。その際には“Adrs　Label”の小ボタンをクリックし、“A”が表示させます。

（４）“Sel”

この欄にチェックマークされているものだけ、グラフに表示されます。

６．トレンドの開始

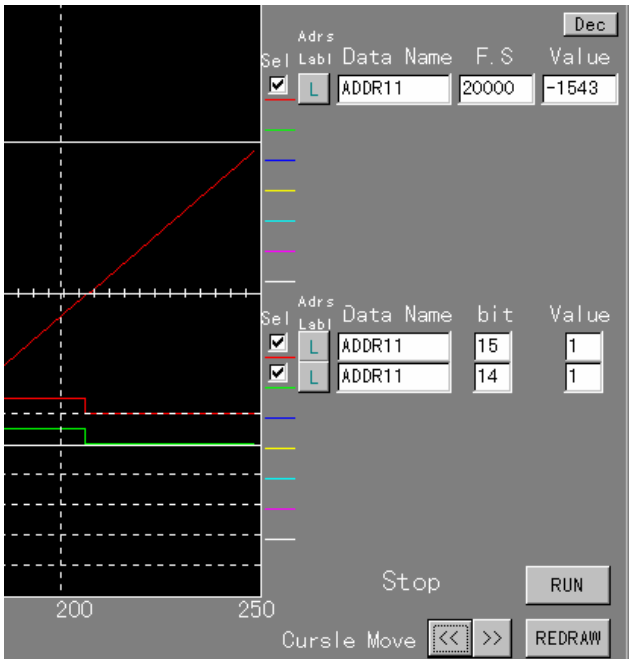
グラフ画面下部の“RUN”ボタンをクリックすることによりグラフの掃引が開始されます。

“RUN”ボタンをクリックすると、グラフの掃引、停止が交互に行われます。

注）一度“Read Data”を実行しないとトレンドは開始されません。”RUN”ボタンがアクティブになっていない場合、変数参照画面にて、“Read Data”をクリックし、VF64 から変数名を読み込んでください。

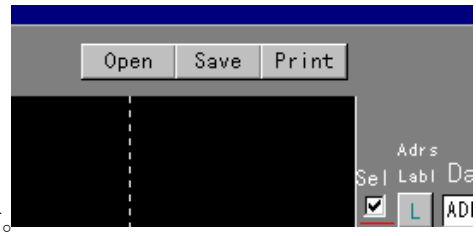
７．再描画

掃引停止中に、“REDRAW”ボタンをクリックすると、それまで画面に表示されていたグラフデータの最後の１画面分が、表示されます。
また、グラフ上にカーソル、設定欄の右側に“Value“欄が現れ、カーソルがあるポイントのデータを表示します。
設定欄右上のボタンにより、データの表示形式を１０進”Dec“と１６進”Hex“とを交互に切り替えることができます。
“<<”、“>>”ボタンによりカーソルを左右に移動することができます。



８．データをファイルに保存

掃引停止中に、画面上部の“Save”ボタンをクリックします。
ファイル指定すると、その時点の画面が保存されます。



９．ファイルを開いて表示

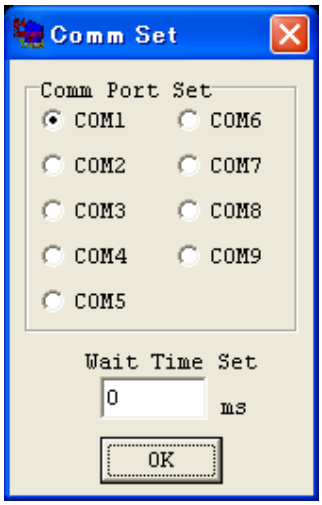
掃引停止中に、画面上部の“Open”ボタンをクリックします。
ファイルを指定すると、過去にサーブされた波形が、表示されます。

１０．印刷

掃引停止中に、画面上部の“Print”ボタンをクリックします。

１１．通信設定

初期は COM ポート１に設定しています。
これと異なるとき、指定して下さい。
メインメニューから“System”－“CommPort”により、本画面が表示されます。



１２．終了

メインメニューから“File”－“Exit”により、プログラムを終了します。

以上

東洋電機製造株式会社
http://www.toyodenki.co.jp/
本　　社　東京都中央区八重洲一丁目 4-16（東京建物八重洲ビル）　〒103-0028
産業事業部　TEL.03(5202)8132～6　FAX.03(5202)8150

TOYODENKI SEIZO K.K.
http://www.toyodenki.co.jp/
HEAD OFFICE: Tokyo Tatemono Yaesu Bldg. 1-4-16 Yaesu, Chuo-ku,
Tokyo, Japan　ZIP CODE 103-0028
TEL : +81-3-5202-8132 -6
FAX : +81-3-5202-8150

サービス網
東洋産業株式会社
http://www.toyosangyou.co.jp/
本　　社　東京都千代田区東神田１丁目 10-6（幸保第二ビル）　〒101-0031
TEL.03(3862)9371　FAX.03(3866)6383

本資料記載内容は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

2012-09 改訂
QG17020D